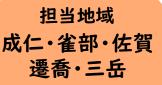
わたしたちは・・・

地区担当職員です!!

(コミュニティワーカー)









くろだ 担当地域 上川口 下川口





担当地域 金山·雲原 大正·庵我



かどの 担当地域 **大江**



^{担当地域} 上六人部 三和



地区担当職員から住民のみなさんへ

社協では、主に小学校区を単位として、地区担当職員(コミュニティワーカー)を配置しています。地区担当職員は、ふれあいいいきいきサロンや地区福祉推進協議会など、住民の方が主体となって行われている小地域福祉活動について、住民のみなさんと"一緒に"なって活動方法などを考える職員です!! コロナ禍の不安な状況が続く中、小地域福祉活動においても大きな影響を受けていることかと思います。私たち自身も、何かすぐに解決できる力はないかもしれませんが、住民のみなさんと"一緒に"力を合わせて頑張りたいと思っています。

活動や、活動に関する話し合いの場など、ぜひご一緒させていただけたらと思います。お気軽に地区 担当職員までお声掛けください。(^^♪

社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会

〒620-0035 福知山市字内記 | 0- | 8 TEL:0773-25-32 | I FAX:0773-24-5282 🚎 🛊

コロナ禍での地域福祉活動において大切な考え方





昨年度から、コロナ禍が続く中での地域福祉活動を通して、住民の方からたくさんのことを教えていただきました。 私たちがみなさんから教えていただいたことを、何かお返しできないかと考え、「コロナ禍での地域福祉活動に おいて大切な考え方」という形で、"あいうえお作文"(遊び心をいれて)でポイントをまとめてみました。 今後、みなさんの地域福祉活動を考えていくうえで、少しでも参考になれば幸いです。 コロナ禍を一緒に乗り越えていきましょう!!



振り返ってみよう。地域福祉活動で大切にしてきた想いを!

- ・人は人と関わりあい、一緒の時間を過ごすことで心の距離が縮まります。これを"つながり"と呼びます。
- ・この"つながり"を太く、強く広げてきたのは、みなさんの地域福祉活動です!
- ・太く、強くなった"つながり"が、地域の"支えあい"を生み出してきました。(^^♪



苦しいときは、一緒に悩もう。仲間がいれば怖くない!

- ・活動の不安や悩みは抱え込まないように。まずは、仲間で話し合ってみましょう。
- ・3人寄れば文殊の知恵!みんなの知恵が合わされば、新たな活動の形が見えてくるかも。
- ・どうにもこうにもならなくなったら、とりあえず社協に相談!社協には、みなさんと一緒に地域福祉活動 を考える地区担当職員(コミュニティワーカー)がいます。(^^)/



ちょっとでもいいよね。でも、気持ちの密は忘れずに!

- ・集まれないなら会いに行く。会えないなら声を聞く。気にかけあう気持ちが"つながり"の糸となる。
- ・コロナ禍の感染状況は無視できない。状況に応じて活動の形は柔軟に。
- ・活動は「細く、長く」をモットーに!それが"つながりを切らさない"秘訣です!



休みも必要。活動の再開に向けて、力を蓄える時間にしよう!

- ・地域の事情はそれぞれ違う。やりたくたってできない時もある。活動を止めることも大切な選択肢のひとつ。
- ・コロナ禍での活動は集める側に不安が伴う。集める側(活動者)、集まる側(参加者)双方の協力のもと 活動は成立します。
- ・自粛が明けたら"あんなことしたい" "こんなことしたい"を考えてみよう。活動再開後のみんなの笑顔を 想像しましょう♪



真似をする。これが地域福祉活動の必殺技だ!

- ・よそのいいなと思ったことを真似してみよう!真似されたほうも嬉しいですよね♡
- ・広告やテレビなど、日常の中にも活動のヒントがいっぱい隠れているかも。
- ·"真似し合いっこ"が活動を元気にする。TTP(徹底的にパクる)が地域福祉活動の醍醐味!



- ・できないことも多いけど、今だからできることもきっとある。仲間と話し合うことだけは、やめないでいたい。 (とある地域の活動者さん)
- 気にかけてくれている気持ちだけで、ほんまに嬉しいんや。(とあるサロンの参加者さん)
- ・1日の中で人と話すのはヘルパーさんとの1時間だけなんや。(とある地域のヘルパー利用者さん)
- ・集まれないから、ご自宅に訪問活動。ちょっと顔を見られるだけで、私も安心なんです。(とあるサロンの活動者さん)
- ・みんなで毎月1回ウォーキング。屋外なら、少しは安心して交流できるやろ。(とある自治会の活動者さん)

